

平成30年度 自己評価結果公表シート

自平成30年4月1日～至平成31年3月31日

学校法人 敬愛学園
岸部敬愛幼稚園

1. 本園の教育目標

教育の目的は、立派な人格を持った人間を育成することです。そして、人格の基礎は幼児期に形成されます。岸部敬愛幼稚園は幼稚園指導要領と、浄土真宗の生活信条、そして親鸞聖人の精神にもとづき、すなおで明るく、やさしく、元気のよい、ほとけの子どもを育てます。

- ★ほとけさまを拝む、明るくて豊かな心を持った子ども
- ★健康で、心身ともに活動的な子ども
- ★お友だちと仲良くあそび、だれからも愛される子ども
- ★「ありがとう」と、すなおによるこび、たたえる子ども
- ★よく聞く態度と、理解力、創造力をもった子ども

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育目標に沿った保育を展開するうえで、教師が意図的に設定した環境のもと、園児の主体的な関わりを軸とした保育を実施することで、園児自身が自ら考え行動する力を養うことができるように計画し実行していく事を重点目標とする

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
幼稚園の教育課程の実施にあたり教職員間の共通理解を図る。	全教職員で積極的に推進し、それを毎日の保育で実践できるよう教職員相互に連携をする。
幼稚園を取り巻く状況をふまえて、今後の計画を立てる。	幼稚園を取り巻く状況が徐々に変化しつつある中、本園がどのようにそれらの変化に対応し得るか、保育の進め方などについて教職員間で検討する。
教育の質の向上のために、経験の長短に関わらず全教職員への指導に取り組む。	幼児の発達を適正に把握するための学びを深め、子どもの成長や保護者の関わりについて意見交換し合う機会を数多く持ち、保育の質向上に役立てる。又、行事ごとに教員リーダーを配置することで責任感を持って職務に従事してもらい、教員の質向上に資する。
保護者との良好な関係性を継続させる。	気になる園児の保護者と早めに、小まめに、個別に懇談の場を設けることで、園内での園児の様子を伝え、保護者の不安を解消したり受け止めたりしていく。
園児一人ひとりの成長・発達を見守る	保護者との懇談を設け、時には他機関との連携を図り子育てを支援していく。又、子どもの発達に関する研修会に意欲的に参加するなどして教員の質向上にあたる。
危機・安全管理を図る	自然災害発生時の対応について、2次災害への配慮を意識した中で避難訓練や万が一への備えを施していく。又、危機管理委員会主導での情報収集に引き続き取り組んでいく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について全教職員が共通に理解し、教員相互に相談し合うことで、教育目標の達成に向けて概ね成果を上げる事ができたと考える。又、相次ぐ自然災害を体験したことで、教職員一人ひとりの自然災害に対する危機意識について否が応でも高まった事は今後に繋げられるのではないかと考える。保護者との関係については、引続き大きなトラブルなく良好な関係が持続できている。今後も継続的に、日常の保育こそ大切にしていける気持ちを忘れず、努力を重ねていくことを決意するものである。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
情報公開の方法	保護者及び市民への情報公開として、引続きホームページ・掲示板等の媒体を活用し、より多くの保護者及び市民に対して情報を発信できるようにする。
教員の資質向上	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿についての学びを重ねていくこと。その為には、子どもの主体性を育む環境構成について意見を出し合い、毎日の保育ですぐに実践できるだけの引き出しを数多く持てるようにする。
体育指導の方法	年間計画では体育指導計画を立てているが、年度初めに思い描いた幼児の姿に達していないと思われる傾向が近年続いていることを踏まえ、講師とのコミュニケーションを強化し連携を深めていく
行事の入替え (暑さ対策)	残暑の厳しさを考慮し、運動会実施月を9月から10月に変更する。これにより遠足・造形展等の諸行事も日程変更となる。
園環境の改善	ウッドデッキ周辺の有効利用のため、小規模修繕を具体的に進めていく。それにより、子どもが身体全体を使った活発な運動ができるような環境構成を検討していく。

6. 学校関係者の評価

総体的に学校運営は良好であると評価する。平成30年度は自然災害が相次いで発生したが、その都度的確に対応できていたのではないかと感じる。今後も決して油断できるものではないので引続き緊張感を持って対応にあたって頂きたい。又、園児一人ひとりに向き合う教職員の態度は好印象を持てる。日常的に幼稚園、園児、保護者が「共に育ちあえる」関係性を持って日常の保育を進めていることが分かる。園行事では、毎年恒例ではあるが、行事ごとに工夫や変化が見られ、園児達が飽きることなく保育に集中できている姿を見ることができた。今後も引続き意識を高く持って行事運営に当たって頂きたい。そして、仏教保育を通じた情操教育も着実に園児や保護者に浸透していて、穏やかな雰囲気の中保育が行われている事は素晴らしい事と思う。少子化に加えて教員採用も厳しい状況下にあると聞くが、今後も地域にある幼稚園としてより一層の活躍が期待される。

7. 財務状況

毎年、公認会計士の監査を受け、適正に運営されていると認められている。